

1) 研究会の名称：

ネットゼロエネルギービルディング (nZEB) におけるバイオマスエネルギーの  
評価研究会

2) 申請者： 奥宮正哉

3) 趣旨と目標：

2011年にFIT制度が導入されて以降、再生可能エネルギーの導入が促進されたが、バイオマス発電も着実に発電容量を伸ばしてきている。バイオマス発電に用いられるバイオマスの種類としては各種のものがあるが、近年の動向としては一般木質・農作物残さ、建設廃材の利用の増加が大きくなっている。

バイオマスを活用して一次エネルギー消費を削減することによるnZEB推進への貢献は今後ますます可能性が高まり、各種バイオマスの種々の形態での利用における供給エネルギーの一次エネルギー換算値やCO<sub>2</sub>発生原単位の議論は急務であると言える。

そこで、本テーマではnZEBへの供給が今後増加していくと考えられるバイオマス発電について、国内外での普及状況、事例を調査し、一次エネルギー換算値、CO<sub>2</sub>排出原単位の評価方法を研究する。

なお、本研究で得られた知見をもとに、nZEBの推進に大きな貢献をしている空気調和・衛生工学会のヨーロッパ空調連合との共同研究への展開、また外部資金を申請してのさらなる研究を進めていくことを目標としている。

4) 責任者及び主要メンバー

(責任者)	：奥宮正哉	(名古屋産業科学研究所・上席研究員)
(メンバー)	：藤沢寿郎	(名古屋産業科学研究所・上席研究員)
	丹羽英治	((株)日建設計総合研究所・フェロー)
	尹 奎英	(名古屋市立大学・芸術工学研究科・准教授)
	鵜飼真貴子	(名古屋大学・環境学研究科・助教)

5) 実施場所と形態

名産研会議室 (対面) とオンライン会議の併用

6) 実施期間：令和 4年 4月 1日～令和 5年 3月 31日